

年頭所感

年頭のごあいさつ



茨城県知事
茨城県統計協会総裁

橋本昌

新年あけましておめでとうございます。皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は干支でいいますと「いのしし」であります。昔から「いのしし」はたいへん元気のいい動物と言われております。本年が、活力にあふれる年になりますことを期待したいと思います。

さて、私は知事として二度目の正月を迎え、ゆとりと潤いのある、豊かな郷土づくりに向けて全力で取り組んでいるところであります。

本県はこれまで、恵まれた自然や社会的条件を生かして、幹線交通網や工業・研究開発の拠点整備など県土の基盤づくりが着々と進み、一人あたりの県民所得も全国で13位となるなど、めざましい発展を遂げてまいりました。

また、可住地面積全国4位、災害も少なく、東京にも近いといった素晴らしい条件に恵まれ、将来に向けて限りない発展可能性を秘めております。

私は、こうした優れた条件を生かし、県民の皆さん、誰もが「茨城に生まれて、住んでよかった」と実感できるよう、生活者の視点に立った県政を推進してまいりたいと存じます。

そのため、身近な生活道路の整備や上下水道の整備といった快適な生活環境づくり、福祉や医療の充実などやすらぎに満ちた社会づくり、魅力と活力あふれる産業社会づくり、個性と創造性やゆとりを大切にする教育・文化の環境づくり、人や物・情報の交流を活発にするための基盤づくり、などを基本に積極的な施策の展開を図ってまいりたいと考えております。

また、こういった施策の具体化にあたりましては、引き続き、「いばらき創り1000人委員会」などを通じて、県民の皆様の声を幅広くお聞かせいただき、的確に施策に反映させてまいる所存であります。そして、県民の皆さんのが快適な環境の下で、安心して、生きがいを持って住める社会づくりを目指してまいります。皆様方の、なお一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

茨城県企画部長
茨城県統計協会会長

中島正弘



新春にあたり、謹んで皆様のますますのご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。皆様には、日頃より統計行政に対し多大なご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、事業所名簿整備調査、商業統計調査、全国消費実態調査、そしてサービス業基本調査など多くの調査が行われましたが、これらの調査が皆様の多大なご尽力により円滑に推進できましたことを深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、今日、我が国は、国際化、高齢化、高度情報化の進展など急速な変化を遂げようとしております。また、ライフスタイルの多様化、地球規模での環境問題、社会経済情勢の変化など新たな課題への対応も求められております。

こうした中で、本県においては、広大で多彩な県土、豊かな自然、優れた歴史・文化などの恵まれた条件を生かし、すべての分野でバランスがとれ、豊かで生きがいに満ちた県民生活の基盤整備に取り組んでいるところであります。

こういった均衡のとれた各種行政施策を実施するにあたり、厳しい財政状況のもとで計画的、効率的な行政運営をしていくためには、的確な現状把握と将来予測が不可欠であり、その基礎資料となる統計の果たす役割は、ますます重要なものとなってきております。

しかしながら、統計を取りまく環境は、プライバシーの高まり、不在がち世帯の増加、ライフスタイルの変化などにより、依然として厳しいものがあります。このため、県といたしましても、新しい社会情勢に対応した統計調査環境の整備と統計情報の充実強化を図る努力をしてまいりたいと思っております。また、統計思想の普及啓蒙を図るために広報活動を強化するとともに、次代を担う青少年に対する統計教育をより一層推進してまいりたいと考えております。

本年は通常の調査のほか、5年毎に実施される調査として、2月に農業センサス、そして10月には、最も基本的で大規模である国勢調査が行われます。どうか皆様におかれましては、統計のもつ社会的意義と重要性をふまえ、本県統計事業発展のため、尚一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。